

平成 30 年度かながわ地球環境賞募集要項

1 主催者

かながわ地球環境保全推進会議及び神奈川県

2 募集部門

(1) 地球環境保全活動部門

別表各号のいずれかに該当する者で、その功績が顕著で他の模範となるもの。

(2) 地球温暖化対策部門

ア かながわ地球環境賞表彰要綱（以下「要綱」）第 3 条第 1 項第 2 号ウに規定するもの

【新設：中小規模事業者対象】

中小規模事業者(※)が、省エネルギーなどに取り組むことにより、事業活動における温室効果ガスの排出を抑制し、その功績が顕著で他の模範となるもの。

(※) 本表彰でいう「中小規模事業者」とは、神奈川県地球温暖化対策推進条例第 11 条第 1 項に規定する「事業活動温暖化対策計画書制度」の提出義務のある事業者（特定大規模事業者）以外の事業者を指します。

・ 年間のエネルギー使用量が原油換算で 1,500kl 未満の事業者

・ 県内で使用の自動車 が 100 台未満の事業者 など

（詳しくは条例の施行に関する規則第 2 条でご確認ください。）

イ 要綱第 3 条第 1 項第 2 号エに規定するもの【温室効果ガス削減技術開発等】

地球温暖化対策技術の開発・製品化又は温室効果ガスの排出がより少ない製品若しくはサービスの開発・提供に関し、他の者の温室効果ガスの削減への寄与の実績を上げる特に優れた取組又は今後寄与することが確実に期待できる取組を行った者

(3) かながわスマートエネルギー計画部門

再生可能エネルギーの導入等に関し、神奈川県再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例に基づき策定されたかながわスマートエネルギー計画の推進に寄与する特に優れた取組又は今後寄与することが確実に期待できる取組を行った者。

3 応募要件

共通

①専ら県内で行われた活動であり、②原則として、神奈川県内に事務所若しくは事業所を有する法人その他の団体（学校・NPO等）又は神奈川県内に在住若しくは在勤している個人。

※ かながわスマートエネルギー計画部門は、②の要件は適用しません。

部門別

(1) 地球環境保全活動部門 【下記（ア）、（イ）とも必須】

(ア)「私たちの環境行動宣言 かながわエコ 10 トライ」に定める具体的取組に沿った実践的な活動（別表参照）のいずれかに該当し、その内容において活動実績や独自性、普及効果、連携、継続性等において優れていると認められる活動であり、概ね 5 年以上にわたって継続し、かつ将来にわたり継続する見込みのあるもの。

(イ) マイエコ 10 宣言が完了している若しくは本年度の表彰実施日までに完了するもの。

～マイエコ 10 宣言については、次のホームページをご覧ください～

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f360478/>

サイト内検索

マイエコ 10 宣言 🔍

(2) 地球温暖化対策部門

ア 要綱第3条第1項第2号ウに規定するもの

【中小規模事業者対象：下記(ア)、(イ)とも必須】

(ア) 事業活動等に伴う温室効果ガスの排出量の削減に関して次のいずれかの取組等を行った中小規模事業者で、その内容が経済性・削減効果の持続性、他者への波及効果等において優れていると認められるもの。

- a 事業活動全体を通じた工夫や取組体制の強化等の取組
- b 事業活動で使用する機器や設備の適正管理・運用改善等の取組
- c 高効率機器や管理システムの導入等の取組
- d 業務用施設やテナント等の建物全体に関する取組
- e 輸送、物流における取組
- f 地域や近隣施設等と連携した取組
- g 他事業者（ESCO事業者、省エネ診断事業者等）と連携した取組
- h その他これらに準ずる取組

(イ) 上記(ア)の取組は、原則として、表彰を実施する年度及びその前5年度以内に行われたものであること。

イ 要綱第3条第1項第2号エに規定するもの

【温室効果ガス削減技術開発等：下記(ア)～(エ)はいずれか、(オ)は必須】

(ア) 先進的な再生可能エネルギー及び省エネルギーに係る地球温暖化対策技術又は製品の開発や提供により、従来の一般的な技術等（地球温暖化対策技術及び温室効果ガスの排出がより少ない製品やサービスをいう。以下同じ。）と比べて、温室効果ガス排出量の削減量、削減率又は排出量原単位において優れ、削減への寄与の実績を上げ又は今後寄与することが確実に期待できるもの。

(イ) 地球温暖化防止につながる革新的又は新しいカテゴリーの製品やサービスの開発・提供を行ったもの。

(ウ) 従来の一般的な技術等と比べて、先進性や独自性、経済性、削減効果の持続性、他者への波及効果又は技術等の普及の度合いが優れていると認められるもの。

(エ) その他、温室効果ガスの排出量の相殺を行う製品等の提供などの地球温暖化対策技術の開発・製品化や、温室効果ガスの排出がより少ない製品やサービスの開発・提供に関する特に優れた取組を行ったもの。

(オ) 上記(ア)～(エ)の取組は、原則として、表彰を実施する年度及びその前3年度以内に行われたものであること。

(3) かながわスマートエネルギー計画部門【下記(ア)、(イ)とも必須】

(ア) 再生可能エネルギーの導入やエネルギー使用の効率化等に関し、先進性や独自性、経済性又は他者への波及効果等において優れていると認められるもの。

(イ) 上記(ア)の取組は、原則として、表彰を実施する年度及びその前3年度以内に行われたものであること。

※ 全ての部門について、次の項目に該当する場合は応募することができません。

ア 同一の功績により、表彰を実施する年度の前5年度以内にこの表彰を受賞したものの。

イ 同一の功績により地球環境保全、地球温暖化対策及び再生可能エネルギーの導入等に関する国、神奈川県等が行う顕彰を受けたもの。

ウ 環境関連の法令、条例、規則等に違反したものの。

4 応募手続き

応募期間	平成30年7月25日(水)から平成30年9月25日(火)まで(消印有効)	
提出書類	(1) 地球環境保全活動部門	
		<p>[個人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請書(様式1) ・応募(推薦)調書〔地球環境保全活動部門 個人用〕(様式2) ・その他参考となる資料 <p>[団体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請書(様式1) ・応募(推薦)調書〔地球環境保全活動部門 団体用〕(様式3) ・定款、寄附行為、規約、会則等の写し ・その他参考となる資料
提出書類	(2) 地球温暖化対策部門	
		<p>ア〔中小規模事業者対象：要綱第3条第1項第2号ウ〕《新設》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請書(様式1) ・応募(推薦)調書〔地球温暖化対策部門(要綱第3条第1項第2号ウ)〕(様式4) ・定款の写し ・その他参考となる資料
		<p>イ〔温室効果ガス削減技術開発等：要綱第3条第1項第2号エ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請書(様式1) ・応募(推薦)調書〔地球温暖化対策部門(要綱第3条第1項第2号エ)〕(様式5) ・定款、寄附行為、規約、会則等の写し ・その他参考となる資料
	(3) かながわスマートエネルギー計画部門	
		<ul style="list-style-type: none"> ・申請書(様式1) ・応募(推薦)調書〔かながわスマートエネルギー計画部門〕(様式6) ・定款、寄附行為、規約、会則等の写し ・その他参考となる資料
	備考	
	<p>※ 上記様式1～6は、かながわ地球環境賞表彰実施要領に定める様式です。</p> <p>※ 申請書類は、「かながわ地球環境賞」のホームページからダウンロードできます。 http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f530926/</p> <p>※ 応募書類は可能な限り、A4サイズで作成してください。</p> <p>※ お送りいただいた書類は、返却いたしません。</p>	
提出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>直接持参又は郵送</u>により提出してください。 ※ 様式1～6については紙での提出と併せて電子データ(Word)の提出もお願いします。 (宛先) e-mail: stop-ondanka@pref.kanagawa.jp ※ 自薦・他薦は問いませんが、他薦の場合は、予め被推薦者から推薦に係る了承を得たものに限ります。 	
提出先	<p>〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1</p> <p>神奈川県環境農政局環境部環境計画課地球温暖化対策グループ</p> <p>電話 045-210-4053(直通)</p>	

5 選考

かながわ地球環境保全推進会議幹事会幹事で構成する審査委員会において選考し、主催者が受賞者を決定します。

※ 選考に当たっては、原則として提出された調書等のみに基づき審査しますので、取組の内容について具体的な数値等を用いて漏れのないよう記載してください。ただし、特に必要が生じた場合は個別に確認させていただくことがあります。

6 選考結果

選考結果は、応募者及び推薦者に文書で通知します。

7 表彰式など

表彰式は、平成 31 年 2 月上旬頃に実施します。

受賞された取組、製品については、県ホームページ等を通じて広く紹介する予定です。

8 各様式の記入留意事項

(1) 申請書（全部門共通：様式 1）

ア 団体名・氏名又は団体代表者名

- ・法人又は NPO 等団体は主たる事務所の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ・氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。

イ 活動の名称及び取組の概要

自薦の場合は上段に記入し、他薦の場合は下段に被推薦者名を含めて記入してください。

ウ 被推薦者の了承

推薦をする場合、被推薦者の了承を得て、了承済みにチェックをお願いします。

(2) 応募（推薦）調書（地球環境保全活動部門：様式 2 及び様式 3）

ア ウェブサイト、SNS など

活動内容等をウェブサイトや SNS（フェイブック等）などで紹介している場合、URL を記入してください。

イ これまでの受賞歴

今回の表彰の対象として応募した取組に関し、過去に受けたことのある賞の名前、賞の主催者及び受賞した年度を記入してください。

ウ 主な活動地域

活動している主な地域について記入してください。（例：〇〇市内、神奈川県全域）

エ 活動の目的

活動を始めた動機や目的・目標などを記入してください。

オ マイエコ 10 宣言

受賞にあたってはマイエコ 10 宣言をしている必要があります。宣言しているか分からない場合又は宣言方法が分からない場合は、「4 応募手続き」に記載の提出先までお問い合わせください。

カ かながわ地球環境賞表彰要綱第 3 条別表における該当項目

応募する活動が、別表のどの活動に当てはまるか記入してください（複数可）。

キ 地球環境保全活動の内容

具体的な活動内容について、活動種別ごとの実施頻度・参加人数、活動における工夫や独自で実践している内容、地域や他団体への普及や連携等、記載例を参考に、実績及び成果をできるだけ具体的・定量的にもれなく記入してください。

○ 活動実績

地球環境保全に向けた実践的な活動の期間及び範囲等具体的な活動内容、活動種別ごとの実施頻度や参加人数などを記入してください。

※ この欄に記入しきれない場合は、別紙（様式任意）にて追加説明が可能です。その場合は「備考」欄に資料名等を記入してください。

○ 独自性

活動における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。

- 普及効果
地域や他団体への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。
- 連携
地域や広域的な連携及び他団体との連携状況、今後の見込み等を記入してください。
- 継続性
今後どのように継続的に展開していくのか、将来に向けた活動の予定や発展の見込み等を記入してください。
- その他
上記のほか、活動の成果や、地球環境保全活動についてアピールしたいポイントなどを自由に記載してください。
- ク 今後の計画
今後どのように活動を展開していく予定なのか、記入してください。
- ケ 備考
活動の内容が分かる参考資料等を添付した場合はその資料名等を記入してください。

(3) 応募（推薦）調書（地球温暖化対策部門（要綱第3条第1項第2号ウ）：様式4）

【中小規模事業者対象】

- ア 事業概要
事業目的、実績（主要製品やサービス等）、資本金等を簡潔に記入してください。
- イ ウェブサイト、SNSなど
取組等をウェブサイトやSNS（フェイスブック等）などで紹介している場合、URLを記入してください。
- ウ これまでの受賞歴
今回の表彰の対象として応募した取組に関し、過去に受けたことのある賞の名前、賞の主催者及び受賞した年度を記入してください。
- エ 取組の全体概要
取組の目的、内容及び実績について、特に重要なものを中心に概要を記入してください。
- オ 取組項目
主な取組分野について、次の(ア)～(ク)の中から選択してください。（複数可）
 - (ア) 事業活動全体を通じた工夫や取組体制の強化等の取組
 - (イ) 事業活動で使用する機器や設備の適正管理・運用改善等の取組
 - (ウ) 高効率機器や管理システムの導入等の取組
 - (エ) 業務用施設やテナント等の建物全体に関する取組
 - (オ) 輸送、物流における取組
 - (カ) 地域や近隣施設等と連携した取組
 - (キ) 他事業者（ESCO事業者、省エネ診断事業者等）と連携した取組
 - (ク) その他これらに準ずる取組
 - ※ (ク)の場合は具体的に記入してください。
- カ 取組の実施期間
取組の実施期間、また通算期間を記入してください。
- キ 取組内容（選択式）
調書に記載の分類ごとに、取組を行っていれば○を記入してください。調書に記載のない取組を行っている場合は、「その他（自由記載）」に○を記入のうえ「内容」欄に取組を記入してください。
- ク 温暖化対策の取組の内容
 - 取組内容（記入式）
「取組内容（選択式）」で○を記入した内容を中心として、記載例を参考に、取組時期・

実績及び成果をできるだけ具体的・定量的にもれなく記入してください。

※ 取組内容がこの欄に記入しきれない場合は、別紙（様式任意）にて追加説明が可能で
す。その場合は「備考」欄に資料名等を記入してください。また、具体的な内容が分か
る資料等があれば、添付してください。

○ 取組内容（燃料資料量）

取組による CO₂ の排出削減量を把握するため、取組前後の燃料使用量を記入してくだ
さい。記載のない燃料種別は適宜追記してください。

○ 他者への波及効果

取組内容の周知・広報活動の状況や、従業員等へ与えた影響、他事業者への普及が見込
まれるかなど、他者への波及効果を記入してください。

○ 経済性・削減効果の持続性

取組に要した費用を踏まえ、経済的効率性や削減効果の持続性について具体的に記入し
てください。

○ 備考

活動の内容が分かる参考資料等を添付した場合はその資料名等を記入してください。

(4) 応募（推薦）調書（地球温暖化対策部門（要綱第3条第1項第2号エ）：様式5）

【温室効果ガス削減技術開発等】

ア 企業等の事業概要

企業、団体及びその他法人のみ構成員数、設置目的、これまで活動してきた履歴を簡潔に
記入してください。

イ ウェブサイト、SNSなど

活動内容等をウェブサイトやSNS（フェイスブック等）などで紹介している場合、UR
Lを記入してください。

ウ これまでの受賞歴

今回の表彰の対象として応募した取組に関し、過去に受けたことのある賞の名前、賞の主
権者及び受賞した年度を記入してください。

エ 取組の実施期間

今回の表彰の対象として応募した取組等の実施期間、また通算期間を記入してください。

オ 地球温暖化対策技術又は温室効果ガスの排出がより少ない製品やサービスの内容

○ 開発した技術や製品・サービスの内容について

技術や製品・サービス内容開発を行った考え方・時期・内容（技術や製品のポイントや
具体的な仕組み）について記入してください。

○ 温室効果ガスの削減効果

一般的な技術等又は従来の製品と比較した場合の温室効果ガスの削減量又は削減率を記
入してください。

○ 取組の先進性・独自性

一般的なものや従来のものと比較した場合、どのような点で先進的であるか、また、他
に類似のものがない独自のものであるかについて記入してください。

○ 経済性・効果の持続

当該開発を行った技術や製品・サービスが費用対効果や経済性の面でどのように優れて
いるか。その効果はどの程度持続していくものと見込まれるのか。また、単体としての温
室効果ガスの削減効果だけではなく、一定程度普及した想定での効果、具体的な導入モデ
ルケース等における効果など可能な限り定量的かつ簡潔に記入してください。

○ 他者への波及効果又は技術の普及度合い

当該開発等を行った技術や製品・サービスについて、想定される波及効果や普及状況に
ついて記入してください。また、販売実績等の定量的な数値がある場合は、その内容を記

入してください。また、当該取組について、学会等への発表やマスコミの報道等の事例があった場合は、その点も記入してください。

○ 今後の計画

今後の活動展開の考え方について記入してください。

○ その他

その他、表彰の対象となる取組について地球温暖化対策の観点からアピールしたいポイントや、地球温暖化問題以外への波及効果など、自由に記入してください。

カ 備考

応募の際に添付する資料名等を記入してください。

資料は、開発した技術や製品・サービスがわかるパンフレットやカタログ、社内外に説明する際に用いた説明資料等で公開が可能なものなどを添付してください（任意様式）。

また、技術的な内容を説明する書類として、特許の出願公開がなされている場合は、当該公開資料を添付することも可能です。

(5) 応募（推薦）調書（かながわスマートエネルギー計画部門：様式6）

ア 企業等の事業概要

企業、団体及びその他法人のみ構成員数、設置目的、これまで活動してきた履歴を簡潔に記入してください。

イ ウェブサイト、SNSなど

活動内容等をウェブサイトやSNS（フェイスブック等）などで紹介している場合、URLを記入してください。

ウ 取組の実施期間

今回の表彰の対象として応募した取組等の実施期間、また通算期間を記入してください。

エ これまでの受賞歴

当該取組等に関し、過去に受けたことのある賞の表彰主体、内容、受賞した時期等を記入してください。

オ 再生可能エネルギーの導入等の目的及び内容

○ 再生可能エネルギーの導入等の目的及び内容

当該導入等を行った目的・内容（具体的な取組）について記入してください。

○ 取組の先進性・独自性

当該取組等が、一般的なものや従来のものと比較した場合、どのような点で先進的であるか、他に類似のものがない独自のものであるかについて記入してください。

○ 経済性

当該導入等が、費用対効果などの経済性の面でどのように優れているかについて、記入してください。

○ 他者への波及効果

当該導入等が、どのように他者へ波及しているのか又は見込まれるのかについて、記入してください。

○ 今後の計画

当該導入等について、今後の活動展開の考え方を記入してください。

○ その他

当該導入等について、アピールしたいポイントや、再生可能エネルギー等の導入以外への波及効果など、自由に記入してください。

カ 備考

応募の際に添付する資料名等を記入してください（取組内容の分かる資料を添付してください）。

(問合せ先)

〒231-8588 横浜市中区日本大通 1

地球環境保全活動部門・地球温暖化対策部門

神奈川県環境農政局環境部 環境計画課

地球温暖化対策グループ 秋山、尾下

電 話 045-210-4053 (直)

F A X 045-210-8952

かながわスマートエネルギー計画部門

神奈川県産業労働局産業部 エネルギー課

分散型エネルギーグループ 辻、岩本

電 話 045-210-4076 (直)

F A X 045-210-8845

別 表 「私たちの環境行動宣言 かながわエコ 10トライ」に定める具体的取組に沿った実践的活動

- (1) 再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの取組の拡大に貢献した者
- (2) 3Rの取組の拡大に貢献した者
- (3) 廃棄物の適正処理を徹底することに貢献した者
- (4) きれいな空気と星空をつくることに貢献した者
- (5) 将来にわたってきれいで豊かな水を確保することに貢献した者
- (6) 里地里山、森林、水辺の豊かな自然を守る取組の拡大に貢献した者
- (7) 農林水産業への理解を深め、地産地消の取組の拡大に貢献した者
- (8) みんなが参加して環境と共生するまちをつくることに貢献した者
- (9) 環境に配慮したライフスタイルや事業活動の拡大に貢献した者
- (10) 環境への関心を高め、学び、行動する人を増やすことに貢献した者